

第2期中部WIN

第3回開催レポート

開催日時：令和元年7月19日（金）14時～17時

開催場所：中部経済産業局 2階会議室 主催：中部経済産業局

●女性リーダーによるミニ講演●

中部電力株式会社 電力ネットワークカンパニー
送変電部 変電グループ 課長 黒崎 恵美 氏

「みなさん自身が輝くことが、
一番のロールモデルです」



～役職が人を育てる～

役職が就くことで会社から評価されていること、必要な人材だと思われることを認識でき、モチベーションのアップ、さらにはよい仕事に繋がりがやすくなり、好循環が生まれます。そんな自身の生き生きとした輝く姿を見せることが後輩の育成のロールモデルになるのではないのでしょうか。

また、管理職に就くと仕事に対する周りの環境も変化します。その環境に対応し、プライベートと両立させるためには、自身の心持ちやスタンスが大事ですが、職場や家族の理解や協力も必要になってきます。周囲に助けてもらった後は恩返しの気持ちを忘れずに仕事をするのも大切です。

▶ 管理職としての役割

① コミュニケーション

挨拶や会話など、
話しやすい環境を作る。

③ 信じて任せる

信じて任せて、
チームワークで成果を上げる。

② 目標の明確化

目標は明確に具体的に示す。
一度決めたらブレない。

④ 組織をつなぐ

人脈や情報を最大限に活用し
組織の成果や価値を上げていく。

▶ 中部WINについて

専門の領域を超える課題に対して、ベースが違う仲間と協力して取り組むことは大変な面もあるが、気づかされることも多く、幅広い人脈を形成できたことは貴重な財産になりました。

お互いを良く理解し合い、広い視野をもって学び続けて欲しいです。

●トップリーダーによる講義●

井村屋グループ株式会社
代表取締役社長 中島 伸子氏

「昨日の夢は、今日の希望であり
明日の現実です」



～女性が変革を掴む～

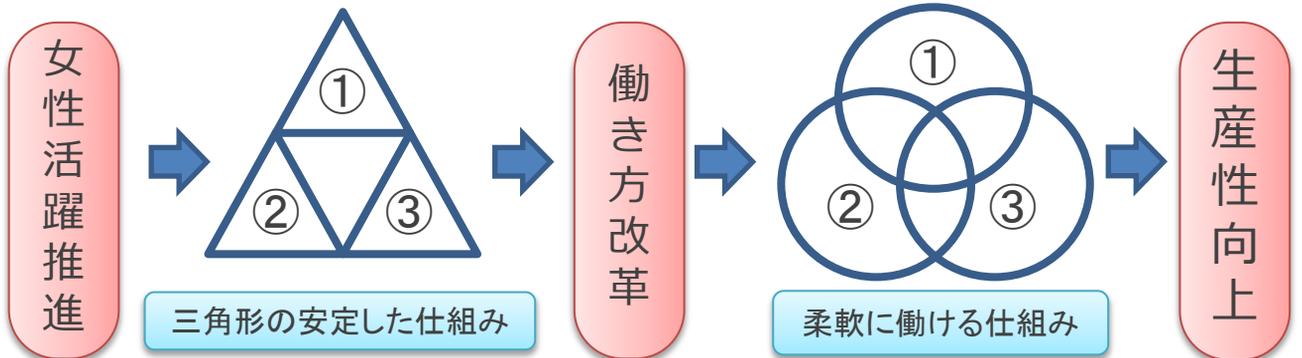
時代は個人の独自性、360度の角度から見る・考えることが企業に生きる、ダイバーシティの時代ですが、言い換えれば個人のスペース（場所・時間）を活用する時代 = **女性の出番です！！**

女性活躍推進・・・安定した仕組みを作る

- ①ボス（経営者）の熱い思い
- ②ソフト面の支援
- ③制度面の充実

働き方改革・・・柔軟に働ける仕組みを作る

- ①個人の時間にスポットを置く
- ②AI/IoT等を駆使した柔軟な制度対応
- ③量から質へ&良いコミュニケーション



～夢に期限を入れて目標にする～

人生100年、自分自身はどのような生涯を送りたいですか。
30年後の自分や会社はどのようになりたいと思いますか。
10年後自分を取り巻く環境はどのようになりたいと思いますか。
バックカスティング思考（未来を起点として、そこから逆算して現在を
考えること）を用いることで今やるべきことが明確になっていきます。



Point

「全ての壁は扉である。その鍵はあなたの手にも。」

●グループワーク

発表テーマも決まり、各班活発な意見の出し合いが行われ、
次回の中間発表に向けて議論を煮詰めていました。

